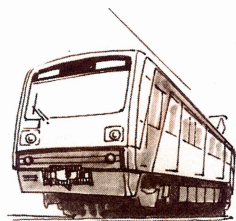


●昭和51年 6月20日印刷
●昭和51年 8月 1日発行
●編集・発行者 竹島紀元
●編集スタッフ
金子俊夫／塚本雅啓／松尾定行
白井朝子／宮原正和
●アートディレクト 岡田徹也
●発行所
(株)鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820番
●印刷所 凸版印刷株式会社



鉄道が好きな人だったら 電車の最前部に乗って運転士のハンドル操作を熱心に眺めたり そのハンドルを自分も一度は握ってみたい…と思った経験が必ずあるにちがいない。国鉄特急電車の運転台は見る機会が少ないが 路面電車から本線の高速電車まで 日本人にとって電車とその運転台は身近な存在でありファンにとっては魅力的な対象であろう。

近年 国鉄の動力車は機構が高度化し 複雑な電気回路や自動化機構がとりいれられて 規格化・標準化された外観や性能とともに パラエティーの楽しみが少なくなってきた。そして私たちが車両をみる場合 内部に秘められたメカの特色を知らないかぎり その車両を理解することが不可能になってきているのも事実である。日本の鉄道の主力である電気車両——とくに電車の走るメカニズムを運転機構に重点をおいてやさしく紹介することにより 鉄道誌がとかく避けて通りがちだったメカニズムのカベに挑戦したのが本号の特集である。

目次 特集●電車の運転とメカニズム

- 7 レールウェイ・レビュー 新幹線の乗客10億人
8 ニュース・ファイル (国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
14 車両基地 (国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集・電車の運転とメカニズム

- 15 多摩川の流れと16の鉄路 荒川好夫
23 電車のメカニズム 編集部
45 急行〈ときわ4号〉を運転する 編集部
54 電車の顔アラカルト 永野晴樹
60 あすの羽ばたきをめざして 檀上完爾／永崎祐之
67 もう一つの時刻表 運転曲線 倉本建二
72 長崎・佐世保線電化開業せまる 倉地英夫
79 周遊券20年のあゆみ 種村直樹
84 遠い郷愁 三沢通博
93 C57135原野からの回帰／路面電車が去っていった日 真船直樹
96 トップ・アングル
101 レールファン・ノートから⑫ 街路の列車 本島三良
●路面電車再発見⑧
109 長崎電気軌道 日本路面電車同好会
117 ヨーロッパの鉄道と列車の旅③⑩ 山之内秀一郎
イギリスの旅(1)
102 ブルー・トレイン
108 ワイドレンズ／魚眼／ズームレンズ／新聞記事ざっくばらん／伝言板／タブレット／R J クイズ／次号予告／乗務員室